

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コンシェルジェ帯江		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自閉症の特性からアセスメントを継続的に行い、一人ひとりにあった支援の方向性を分析し、丁寧な支援、指導を心がけている。	利用者さん一人一人の個別化を図るために、特性や理解、生活スタイルなどの環境も含め、幅広く丁寧にアセスメントをしております。そして、丁寧なアセスメントがあるからこそ個別化された支援計画が立てられていると思っています。コンシェルの中だけでなく、外部の講師に助言を受けながら日々学び続け、専門性を高めています。	今後も「コンシェルに来て良かった」と思われるように丁寧にお子さんの特性や気づきを説明させてもらい、保護者の方からもしっかり情報をもらいながら同じ方向を向いて支援・指導を進めていきたいと思っています。
2	チーム間での協働と保護者や関係機関との協働を重視している。	コンシェルは、協働を一番考えています。チームとして一貫とした指導・支援を進める為にも水野敦之先生のフレームワークを活用しています。また、保護者の方との協働はとても大切にしております。実際にアセスメントをした資料を見ていただき、本人の思考や気づきをお伝えしています。保護者の方と共通理解をすることで、同じ支援・指導を提供できると考えております。	コンシェルは保護者の方の情報をとても重要視しております。いつもたくさんの情報をいただきありがとうございます。コンシェルからも事業所で見られたお子さんの特性や気づき方を丁寧にお伝えしていきたいと思っております。今後も情報提供をよろしく願いいたします。

3	バスの乗車、買い物活動、外食活動等の地域での活動や、行事を定期的に設定している。	地域は様々な刺激に影響を受けた行動を想定して、刺激の少ない場所を選んでいきます。 そして、手順書やスケジュール等、本人の強みやスキルを活かせるように計画しています。 行事も個別化を意識して、メンバーや内容を調整しています。	般化や変化の困難さをもつお子さん達であること念頭におき、一つひとつの場面でこれまで活用した構造化など視覚的な支援を活用して見通しをもって計画していきたいと思っております。 ラインホームページに活動等を掲載しておりますので、是非ご覧ください。
---	--	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、茶話会等を前期後期に分けて年2回開催しているが今後の企画の内容をスタッフで話し合っている。	開催後のアンケートでは、とても勉強になったと前向きな意見をいただいている。 今後の企画としてお子さんの発達年齢に合わせた保護者同士の横のつながりも大事ではないかと考えている。	アンケート等で保護者の意見を参考に、今後の企画を検討していきたい。
2	部屋は大部屋と個室に分かれているが、特性から考えるとスペースが広すぎて刺激や注目の特性の影響もあるので再構造化が必要。	10月に再構造化をして、1対1の相談エリアを増やし、動きのある活動部屋の確保ができた。いつも最善の支援ができるように構造を考えていきたいと思う。	事業所全体で考える構造と個別で考える構造をスタッフで話し合っ進めていきたい。
3			